



おいしい米

2023/08/31

づくり情報

第12号 刈取りスタンバイ編

庄内総合支庁 農業技術普及課

Tel. 0235-64-2103

出穂早く高温続き→刈取適期は大幅に早まる
高温のため胴割リスク大→刈遅れはダメージMAX

胴割

刈取開始のタイミングを早めにキャッチしよう！

1 登熟の状況

8月29日現在、生育診断圃の登熟歩合は平年より高く、青籾歩合は前年よりかなり低くなっています。また出穂後積算気温は平年よりかなり高くなっています。これらのことから、刈取適期はいずれの品種でも大幅に早まる見込みです。

表1 <作柄診断圃 8月29日現在 登熟状況>

地点 品種	年次	登熟歩合(%)			籾水分(%)			青籾歩合(%)			出穂後積算気温(°C)		
		8/21	8/29	9/5	8/24	8/29	9/5	8/21	8/29	9/5	8/21	8/29	9/5
鶴岡市矢馳	本年	42.8	87.4	-	33.8	-	-	92.8	22.3	-	676	910	-
はえぬき	平年	-	71.1	86.7	-	-	-	-	81.6(前年)	-	592	697	845
鶴岡市長沼	本年	51.6	91.2	-	-	30.4	-	89.9	19.6	-	539	798	-
雪若丸	平年	-	66.3	84.9	-	-	-	-	92.7(前年)	-	488	681	851
鶴岡市上清水	本年	10.1	78.9	-	-	30.7	-	99.6	78.7	-	476	740	-
つや姫	平年	-	41.6	71.8	-	-	-	-	94.0(前年)	-	436	568	738

2 刈取開始できるタイミングを早めにキャッチ！

刈取開始のタイミングは、①出穂後積算気温、②青籾歩合、③籾水分を総合的に判断します。

<①出穂後積算気温>

今年は高温登熟年です。刈取適期となる積算気温は通常年より50°C前倒しして、「はえぬき」は900°C~1150°C、「つや姫」は950°C~1150°Cとなります。「雪若丸」は900°C付近で刈取りの判定を行い、可能であれば刈始めましょう(表2)。

表2 <例 品種ごと・出穂期ごとの積算気温到達日>

(アメダス 鶴岡)

品種	場所 (作柄診断圃)	出穂期	出穂後30日間の平均気温(°C)	刈取適期となる積算気温(°C)		R5積算気温到達日(月/日)				
				高温登熟年	通常年	900	950	1000	1150	1200
はえぬき	鶴岡市矢馳	7/29	28.2	900~1150	950~1200	8/29	8/31	9/2	9/9	9/11
雪若丸	鶴岡市長沼	8/2	27.5	※950~1200		9/3	9/5	9/7	9/14	9/16
つや姫	鶴岡市上清水	8/4	28.6	950~1150	1000~1200	9/5	9/7	9/10	9/16	9/19
直播はえぬき	庄内町下堀野	8/7	28.0			9/9	9/11	9/14	9/21	9/23

出穂期7/29の「はえぬき」は、すでに刈取りできそう！

<②青籾歩合および③籾水分>

刈始めの青籾歩合、籾水分は表3のとおりです。

ところが今年^は高温に加えて日照時間がかなり長いので、出穂後積算気温の増え方よりも青籾歩合と籾水分の低下スピードが早い可能性があります。

また、籾がすっかり黄色になっても枝梗がまだ青いままの可能性もあり、枝梗の青さにこだわっていると刈遅れてしまうおそれがあります。

刈取を開始できるタイミングを見逃さないために、籾の状態は必ず観察しましょう。

表3 刈始めの青籾歩合および籾水分

品種など	刈始めの青籾歩合(%)	籾水分(%)
はえぬき	20	25以下
雪若丸		
つや姫	15	
直播 はえぬき	15	

穂を手にとって、籾の状態をチェック！

3 今年^は胴割粒発生リスク 極めて高い

出穂後6日目～10日目の間の最高気温が30℃より高い、または平均気温が26℃より高いと胴割粒が発生しやすくなります。今年^は出穂期がいつであれ、出穂後6日目～10日目の間の最高気温が30℃を大幅に超えており(図1)、胴割粒発生リスクがきわめて高くなっています。

また、出穂後積算気温が1200℃を超えると胴割粒が急増するので(図2)、刈遅れは絶対に回避しましょう。

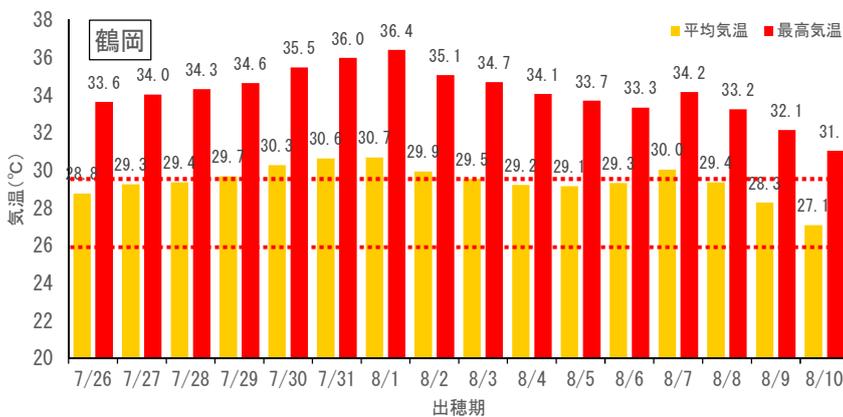


図1 出穂期ごと 出穂後6日目～10日目の気温

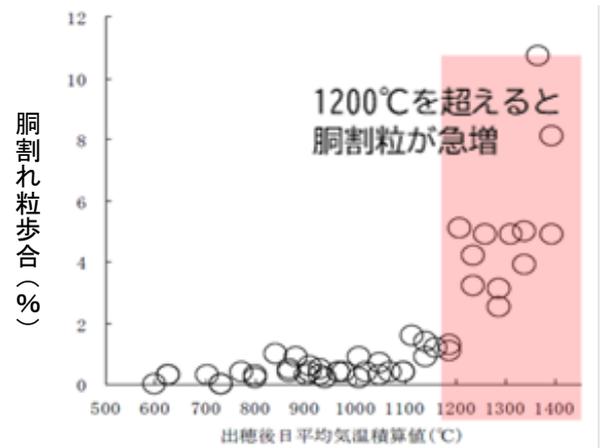


図2 出穂後積算気温と胴割粒の関係

今年^はいつの年にも増して刈遅れ NG！

4 早期落水はNG！ 台風接近時は一時的に湛水！

早期落水は登熟を妨げ、白未熟粒や胴割粒の発生を助長します。出穂後少なくとも30日間は間断灌水または飽水管理を継続しましょう。

一方、台風が接近する場合は一時的に湛水して稲体の消耗を防ぎましょう。

**農作業安全！刈取前に機械のメンテナンスをしましょう！
今年^は暑い中で稲刈り。熱中症に用心しましょう！**